

藤島中学校 環境学習プログラム学校訪問 結果報告書

[日 時]

令和3年12月1日(水) 14:10~15:30

[出席者]

(1) 学校側出席者

藤島中学校校長、教頭、担当教諭1名、日新公民館館長

(2) 市側出席者

福井市環境学習プログラム学校訪問員1名、福井市学校教育課職員1名、環境政策課職員2名

[訪問内容]

- ・福井市環境学習プログラムにかかる取組の確認
- ・美化委員会、環境委員会による活動の見学
- ・清掃活動の見学

[講 評] ※ESDのポイントを踏まえ取り組まれているかを中心に講評しています。

<能力・態度>

批判的に考える力	①
未来を予測して計画を立てる力	②
多面的・総合的に考える力	③
コミュニケーションを行う力	④
他者と協力する態度	⑤
つながりを尊重する態度	⑥
進んで参加する態度	⑦

<概念>

多様性	①
相互性	②
有限性	③
公平性	④
連携性	⑤
責任性	⑥

概念を理解するために必要な(身につけるべき)能力・態度

	環境の取組	能力・態度	概念
I	<<節電・節水の取り組み>> ・スイッチや蛇口のある場所には、節電・節水呼びかけるシールを貼ります。 ・移動教室のときや使っていない廊下、トイレは、必ず電気を消したことを確認します。 ・夜間、上部サイホン式の男子トイレの元栓を止めて節水に努めます。	④、⑤、⑥、⑦	③、⑤、⑥
		所感 いずれの取り組みも確実に実行されていることを確認しました。 とりわけ、各種シールについては、美化委員会や環境委員会の生徒の手で、分かりやすい標語を考案し、丁寧にラミネート加工したうえで掲示されていたことは素晴らしいと思います。	

II	環境の取組	能力・態度	概念
	≪分別回収・リサイクル活動の取り組み≫ ・ クラスごとにリサイクルBOXを設置し、余った紙をまとめて資源ゴミとします。裏が未使用の紙は反故紙として再利用します。 ・ 職員室のゴミ箱を「燃やせるゴミ」と「燃やせないゴミ」に分け、分別回収します。	④、⑤、⑦	③、⑤、⑥
	所感		いずれの取り組みも確実に実行されていることを確認しました。 地道な取り組みですが、今後も継続してほしいと考えます。
III	環境の取組	能力・態度	概念
	≪地域の清掃活動≫ ・ 年に1回、地域の清掃活動を全校生徒で行う「社会貢献活動」を実施します。	④、⑤、⑥、⑦	④、⑤、⑥
	所感		1年生から3年生の生徒たちを混ぜ合わせて班を編成したうえで、公民館などと連絡・調整して、地域清掃活動を実践していることは意義深いやり方と考えます。
IV	環境の取組	能力・態度	概念
	≪回収活動≫ ・ ベルマークやペットボトルキャップ、プルタブの回収を行います。	④、⑤、⑦	⑤、⑥
	所感		地道な取り組みですが、今後も継続してほしいと考えます。
V	環境の取組	能力・態度	概念
	≪生命や自然の大切さを理解するための取り組み≫ ・ 環境委員会と特別支援学級を中心に、花壇の花の水やりを行います。	④、⑤、⑥、⑦	③、⑤、⑥
	所感		地道な取り組みですが、生徒の責任感の醸成に寄与すると思われますので、今後も継続してほしいと考えます。
VI	その他の所感		
	<p>学校訪問当日は、美化委員会(約30名)と環境委員会(約30名)活動の一環としてのポスターやシールの原案作りを見学した。両委員会とも、参加する生徒からは自分で考えようという姿勢が強く感じられました。</p> <p>また、当該中学校は、前方に水田が広がるものの住宅地に立地する中学校であり、付近に里山や小川があるわけでもないことから、自然教育にはご苦労が多いと思われます。</p> <p>一方、ESDと命名される環境教育においては、オリジナリティが最優先されるわけではありません。その意味でも、一つ一つの地道な取り組みを継続していくなかで、今後、新しい取り組みを模索し、チャレンジされることを期待しています。</p>		

[訪問の様子]

